ＪＡ東びわこのＳＤＧｓ

～持続可能な未来の達成を目指して～

地球上の“誰ひとり取り残さない”――。
2015年に国際連合に加盟する193の国が１つの文章を採択しました。
それが「持続可能な開発のための2030アジェンダ」。
“誰ひとり取り残さない”をキーワードに、
あらゆる国が参加し取り組まなければいけない行動計画です。

17の目標と169のターゲットから構成された「持続可能な開発目標＝ＳＤＧｓ（エスディージーズ：Sustainable Development Goals）では2030年までに持続可能な未来を達成することを目指し、取り組むべき課題や行動計画をまとめています。

ＪＡ東びわこでは様々な「ＳＤＧｓ」を取り入れ、持続可能な開発目標に取り組んでいます。

未来を担う子どもたちのためにも…。
私たちができることを考えてみませんか。

協同組合とSDGsの繋がり

ＪＡ（農業協同組合）は、組合員が互いに協力して助け合う相互扶助の精神を基盤としており、問題をみんなで協力し、解決していくことが基本的な考え方となっています。

日本政府による「SDGs実施指針」では“協同組合は各地域の課題解決に向けて人間らしい社会を築きSDGsへ貢献することが期待される”と位置付けられており、SDGsの認知度アップとともに世間からの協同組合に対する期待も高まっているのです。

SDGs１７項目の開発目標

1 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。

2 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。

3 すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。

4 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。

5 ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る。

6 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
すべての人に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。

8 働きがいも経済成長も
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用および働きがいのある人間らしい仕事を推進する。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る。

10 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の格差を是正する。

11 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする。

12 つくる責任つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する。

13 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。

14 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。

15 陸の豊かさも守ろう
陸上生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、土地劣化の阻止および逆転、生物多様性損失の阻止を図る。

16 平和と公正をすべての人に
平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。

17 パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

ＪＡ東びわこは、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に賛同し、その達成に向けて、事業・活動に取り組みます。

ＪＡ東びわこは「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」として、組合員の声に応えながら、不断の自己改革への取り組みを通じて、持続可能な地域農業・地域社会づくりに取り組んできました。

今後はさらに、私たちの事業や活動が世間に与える多面的な影響にも配慮しながら、地球的視野に立ち、地域社会を構成する一員として、組織・事業・経営の革新をはかり、社会的役割を誠実に果たします。

ＪＡ東びわこは、各々の置かれた環境を踏まえて、SDGsの達成に向けて取り組んでいきます。

重点取組項目

食料農業分野

持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組み、生産基盤の重要な要素である担い手の確保・育成と農地保全・活用に努めます。また、地域で生産された農産物がＪＡ直売所を通じて、地域内で安全・安心に消費される地産地消に取り組みます。

地域・くらし事業分野

地域に暮らす組合員・地域住民へ、多様なＪＡの事業を通じて、安心して暮らせる持続可能な地域社会づくりに貢献していきます。

協同・組織運営分野

女性の運営参画や民主的な意思決定によるアクティブ・メンバーシップの推進、また協同組合や商工会、地方公共団体等、地域の多様な組織とのパートナーシップを通じて、地域の活性化に取り組みます。

ＪＡ東びわこＳＤＧｓ取組宣言

ＪＡ東びわこは「食と農を基軸とした地域に根ざした農業協同組合」として、国連が提唱する「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」の達成に向け、組合員の声に応えながら、不断の自己改革を通じて、持続可能な地域農業・地域社会の発展に取り組んでまいります。

2021年3月29日
代表理事理事長　大 脇　利 博

重点取組項目

◆食料農業分野

持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組み、生産基盤の重要な要素である担い手の確保・育成と農地保全・活用に努めます。また、地域で生産された農産物がＪＡ直売所を通じて、地域内で安全・安心に消費される地産地消に取り組みます。

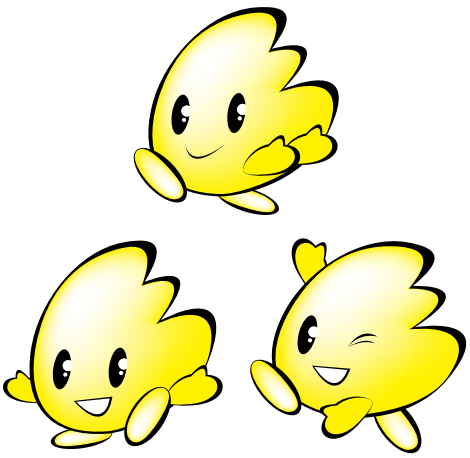
◆地域・くらし事業分野

地域に暮らす組合員・地域住民へ、多様なＪＡの事業を通じて、安心して暮らせる持続可能な地域社会づくりに貢献していきます。

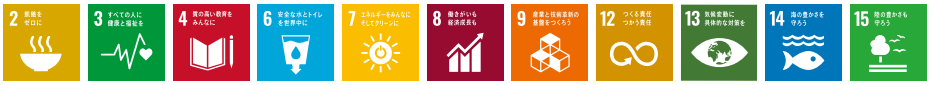
◆協同・組織運営分野

女性の運営参画や民主的な意思決定によるアクティブ・メンバーシップの推進、また協同組合や商工会、地方公共団体等、地域の多様な組織とのパートナーシップを通じて、地域の活性化に取り組みます。

以上



◆食料農業分野



① 持続可能な地域農業発展のため、「担い手農家」、「多様な担い手」及び「その地域の住民・消費者」が一体となり地域農業を支える姿を目指し、地域の農地保全に取り組みます。
② 農業後継者育成のため、ＪＡ子会社への新規就農者受入支援に取り組んでいます。
③ 農業による環境負荷軽減を目的とした農業の展開を進め、環境こだわり栽培をはじめ、地域の環境に配慮した特色のある農産物生産に取り組みます。
④ スマート農業導入に向け、試験農家を設置し、タブレットを活用した農作業管理の省力化を目指します。
⑤ 直売所を通じて、農業に携わる農家とともに「安全・安心・新鮮」な農産物の生産、「地産地消」の拡大、「地域の活性化」に取り組みます。
⑥ 管内福祉事業所との業務連携を進め、農作業委託を含めた技術習得による就労支援を行い、共生社会の実現に向けた「農福連携」に取り組みます。
⑦ 農家から求められる営農技術指導、担い手への経営分析等が行えるように、積極的な研修会参加と現場での知識向上に努めます。

◆地域・くらし事業分野

① 出張直売所やコンビニ提携店舗へ農産物の販売、各家庭には灯油の配送等、地域のインフラ機能として多面的なサービスの提供に取り組んでいます。
② 農業や不動産に関する事業資金ニーズ、住宅・マイカー・教育ローン等の生活に関わるニーズに応えるほか、共済事業による保障の提供や相談業務を通じた家計の総合アドバイスの提供を行います。
③ ちゃぐりんキッズクラブを通じた農業体験や食農教育の実施、１支店１協同活動による保育園、幼稚園、小学校と連携した農業体験に取り組んでいます。
④ ＪＡ女性部活動を通じて、地域における仲間づくりを地域づくりに繋げ、より多くの女性の夢や願いが実現できる参加型の活動を実施することで、ゆとりとふれあい、助け合いのある住み良い地域社会づくりに取り組みます。
⑤ 福祉事業を通して、利用者が住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」ができるように、ご家族の皆さまと考え、日常生活をサポートする福祉サービスを提供しています。
⑥ 組合員・地域利用者へ組合員健診の案内や担い手・農業者の方には農業リスク診断活動を実施し、健康づくりやリスク対策等のサービス提供に取り組んでいます。
⑦ 育児休暇取得職員の復帰支援の促進、女性はキャリアプランを描きやすい環境整備とワークライフバランスの向上に取り組んでいます。

◆協同・組織運営分野

① 県内の協同組合や地域の商工会、地方公共団体等、地域の多様な組織とのパートナーシップを通じて、地域の活性化に取り組みます。

JA東びわこSDGsへの具体的な取組事例

食料農業分野

1

持続可能な地域農業発展のため、「担い手農家」、「多様な担い手」及び「その地域の住民・消費者」が一体となり地域農業を支える姿を目指し、地域の農地保全に取り組みます。

- TAC（地域農業の担い手に出向くＪＡ担当者）の訪問による経営分析・事業継承支援等の担い手支援

- 地域の准組合員・住民が農業を支える応援団となってもらえるよう幅広い世代を対象に実施する1支店1協同活動等を通じた食農教育・交流活動

- 連携を密にし、より良い地域農業を築くことを目的に開く農業者との意見交換会

- 各地域単位で栽培技術などを共有し、より良い地域農業を目指すため開く集落座談会や農談会

- 高収益作物の生産拡大に向けた果樹生産団地の新規育成（ぶどう等）

- 個人所有が難しい施設や設備の共同利用により生産コストを削減することで貢献する地域農業の維持・発展

- 特産品のブランド化と面積拡大（多賀にんじん、多賀そば、秦荘のやまいも、彦根梨、とよ坊かぼちゃ、甲良黒大豆等）

- 園芸品目の生産振興を目的とした農機レンタル事業の拡充により取り組む園芸作物の栽培面積拡大

2

農業後継者育成のため、ＪＡ子会社への新規就農者受入支援に取り組んでいます。

- 農家の高齢化などによる不耕起田の解消を目的に、担い手のない農地の保全と有効活用を行うＪＡ子会社の広域化の検討

- 将来に渡って持続可能な農業の基盤づくりに向けた農業後継者育成を目的とする新規就農者の雇用と独立に向けた支援

3

農業による環境負荷軽減を目的とした農業の展開を進め、環境こだわり栽培をはじめ、地域の環境に配慮した特色のある農産物生産に取り組みます。

- 農業濁水問題の改善及び廃棄プラスチックや不要農薬の回収

- 消費者交流会を通じた農産物生産への取り組み

- 安定した農業経営の実践に向けた低コスト農業研究会の開催

- 環境に配慮した生分解性マルチをはじめとした生産資材等の販売

4

スマート農業導入に向け、試験農家を設置し、タブレットを活用した農作業管理の省力化を目指します。

- ロボット技術やリモートセンシング技術を活用した農業用機械の実演会等による最新技術の導入促進

- 地図上の圃場の形に合わせて作成したポリゴンとExcelで管理した圃場の情報を紐づけて管理するクラウド型の営農管理システムZ-GIS導入の普及・推進とタブレットを活用した試験圃場の設置

5

直売所を通じて、農業に携わる農家とともに「安全・安心・新鮮」な農産物の生産、「地産地消」の拡大、「地域の活性化」に取り組みます。

- 「みずかがみ」「コシヒカリ」などをはじめとする近江米ブランドを活かした玄米・白米の定期購入者の獲得

- 地産地消の強化・拡大・充実に向けた学校給食、病院給食、飲食店等への供給量・品目の拡大

- 高齢者、女性、新規就農者、集落営農組織、団体をはじめとした、多様な出荷者の拡大

- 生産者、ＪＡ、行政のトップが特産品の認知度向上・消費拡大を目的にＰＲするトップセールスの実施

- 農畜産物を活用した加工品の開発

6

管内福祉事業所との業務連携を進め、農作業委託を含めた技術習得による就労支援を行い、共生社会の実現に向けた「農福連携」に取り組みます。

- 障害者等が農業分野で活躍することで自信や生きがいのある社会参画を実現していく農福連携の取り組みに向けた、働き教育センター甲良との業務連携・農作業委託の実施

7

農家から求められる営農技術指導、担い手への経営分析等が行えるように、積極的な研修会参加と現場での知識向上に努めます。

- 担い手サポートセンターと連携した農業経営管理支援事業による記帳代行と経営分析

- 営農技術指導や担い手への経営分析のスキル向上等を目的とした生産部会担当者の研修会への参加

- ＳＮＳ（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した営農情報等の発信

地域・くらし事業分野

1

出張直売所やコンビニ提携店舗へ農産物の販売、各家庭には灯油の配送等、地域のインフラ機能として多面的なサービスの提供に取り組んでいます。

- 既存の店舗から離れた地域でも直売所の利用機会を創出し、ＪＡとの結び付き強化を狙う出張直売所の出店

- 地域に多数展開するファミリーマートとタイアップした農産物の販売

- 新たな顧客層と販路の拡大を目的に行うパリヤでのインショップ展開

- キャンペーンを定期的に開催するほか、全管内地域へ向けた灯油の安定供給と定期配送先の拡大

- 広報誌に「SDGｓ通信」コーナーを設け、SDGｓ取組の情報発信

- アンパンマン交通安全キャラバン等のイベントを開催し、地域利用者への交通安全啓発活動

- 葬祭事業における利用者ニーズに沿ったプランの提供

②

農業や不動産に関する事業資金ニーズ、住宅・マイカー・教育ローン等の生活に関わるニーズに応えるほか、共済事業による保障の提供や相談業務を通じた家計の総合アドバイスの提供を行います。

- あらゆるライフステージにおいてＪＡが関わる提案・相談活動の実施

- 子育て世代へのびのび定期積金やこども共済を中心とした提案・相談活動の実施

- ３Q訪問活動をはじめとした利用者の保障点検活動による提案・相談活動の実施

- 積立ＮＩＳＡ、ｉＤｅＣｏ、年金共済等の長期資産形成の提案

- アグリマイティー資金を活用した農機具更新による作業効率の向上

- より良い提案や相談業務の基盤づくりを目的としたファイナンシャルプランナー等の資格取得者の拡充

- 自動車安心サポートセンターによる事故受付対応

③

ちゃぐりんキッズクラブを通じた農業体験や食農教育の実施、１支店１協同活動による保育園、幼稚園、小学校と連携した農業体験に取り組んでいます。

- ちゃぐりんキッズクラブの受講生を受け入れる体制づくり

- 保護者を巻き込んでの農業体験を通じた食農教育の実施

- ちゃぐりんキッズクラブ卒業生を対象にしたイベントの創設

- 支店単位による米や野菜の植付け・収穫など農業体験を主とした食農教育への取り組み

4

ＪＡ女性部活動を通じて、地域における仲間づくりを地域づくりに繋げ、より多くの女性の夢や願いが実現できる参加型の活動を実施することで、ゆとりとふれあい、助け合いのある住み良い地域社会づくりに取り組みます。

- 食や環境（エコ）、地産地消をテーマに家庭料理研究や交流等を行う「食のつどい」の開催

- 地域コミュニティ強化等を目的とした「女性部軽トラ市」の開催

- 女性協議会を中心に女性部全体で取り組む、秋の収穫の喜びを新米ひとにぎりに託し管内の社会福祉施設に贈る「愛の米ひとにぎり運動」の実施

- 食や農業に関心のある若い世代の女性を主体とした「フレッシュミズ」活動

- 「家の光小グループ」による「家の光」の記事を活用した料理や手芸、読書会等の活動

- 助け合い組織「陽だまりの会たん・とん」による認知症予防や健康寿命延伸等の助け合い活動

- 特産加工グループによる「ふなずし」「もち」「みそ」等といった特産品の製造や販売を通じた地域に根付く伝統食の継承活動

- 「食の研究会」による健康づくりや食文化、地産地消をテーマにした講習会等の活動

- 「旬の野菜おいしさ伝え隊」による地産地消の推進や食文化継承を目的としたレシピ紹介等の活動

5

福祉事業を通して、利用者が住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」ができるように、ご家族の皆さまと考え、日常生活をサポートする福祉サービスを提供しています。

- 「居宅介護支援」「通所介護」「福祉用具販売・貸与」等のサービス提供

- 福祉職員の研修会への参加と資格取得による更なる資質向上

- 地域での利用拡大を深化し促進する地域社会への貢献

6

組合員・地域利用者へ組合員健診の案内や担い手・農業者の方には農業リスク診断活動を実施し、健康づくりやリスク対策等のサービス提供に取り組んでいます。

- ＪＡ健康寿命１００歳プロジェクトを活用した健康寿命の促進

- 教育文化活動「さんさん講座」の充実による地域住民に向けた健康づくりの機会創出

- ＬＡとＴＡＣが連携した農業リスク診断活動による多様なリスクに備えた保障の提案

7

育児休暇取得職員の復帰支援の促進、女性はキャリアプランを描きやすい環境整備とワークライフバランスの向上に取り組んでいます。

- 「イクボス宣言」の実施による労務管理の徹底

※イクボスとは、「部下や同僚等の育児や介護・ワークライフバランス等に配慮・理解のある上司」のことです。

- 育児休業明け職場復帰プログラムの実践

協同・組織運営分野

1

県内の協同組合や地域の商工会、地方公共団体等、地域の多様な組織とのパートナーシップを通じて、地域の活性化に取り組みます。

- 行政・大学と連携した取り組みの強化（３世代が一堂に会する場の創造）
- ＪＡ間連携による施設保全管理
- 地域の関係機関と密接に関わり、地域の活性化等を目的に行うＪＡ東びわこ大感謝祭の開催

- 管内のスポーツ少年団等と連携して行うＪＡ東びわこ旗争奪学童野球大会の開催

- 地域の商工会、地方公共団体等と連携した特産品のイベント開催

- 人権活動21を通じた、地方公共団体等、多様な組織と連携した地域活性化活動

- ＪＡ東びわこイメージキャラクター“いっぴー”による「ご当地キャラ博」等へのイベント参加

今回取り上げた事例はほんの一部ですが、このほかにもＪＡ東びわこによるＳＤＧｓに関連した取り組みが多くあります。これからもＪＡ東びわこが地域農業や地域社会に必要とされるＪＡとなれるよう、役職員が一丸となってＳＤＧｓに取り組んでいきましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）を支援しています。

編集／企画管理部

東びわこ農業協同組合

〒522-0223 滋賀県彦根市川瀬馬場町922番地1
TEL.(0749)28-7801　FAX.(0749)28-7888
ホームページ http://www.east.jas.or.jp
メールアドレス info@east.jas.or.jp